

BSE対策に関する調査①

(平成18年10月末現在)

牛の背割りによるせき髄片の飛散防止について

牛を処理すると畜場159施設のうち、6施設は背割りを行っていない。
残りの153施設の全てにおいて、以下の事項を確認

- ・鋸の歯を洗浄しながら切断し、脊髄を回収
- ・回収した脊髄の焼却
- ・背割り鋸を1頭ごとに洗浄消毒
- ・背割り後、せき柱中の脊髄除去
- ・除去後、高圧水により洗浄
- ・と畜検査員が枝肉への脊髄付着がないこと

背割り前のせき髄除去について

牛の背割りを行っている153の施設中、背割り前にせき髄吸引を行
っている施設は、132施設(86.3%)

と畜頭数ベースでは、96%の牛が背割り前にせき髄吸引されている。
(数値は平成17年度のと畜頭数をもとに推定)